

# 能登地方を震源とする地震に伴う農作物等の被害防止対策について

気象災害対策R5-3  
令和5年5月5日  
農林総合研究センター

## I 気象の概況

5月5日午後2時42分、能登地方で震度6強（M6.3）の地震が発生しました。本県では、5日夜以降に大雨が予想されており、強い地震の影響により、地盤の軟弱化が想定されるため、少しの降雨でも、地すべりやほ場への浸水、冠水、土砂の流入等が生じるなど農作物等への影響が懸念されます。

今後の気象情報に十分留意し、被害防止対策に万全を期してください。

## II 被害防止対策

### 1 農作業安全

**【ポイント1】まず、身の安全を確保することが大切です！**

- (1) 倒壊の恐れのある作業場や倉庫等の施設には近づかない。
- (2) 事故防止の観点から、ほ場の見回り等は、気象情報を十分に確認し、雨や風がおさまってから行う。

### 2 農地の点検、安全管理

**【ポイント2】農地や施設の点検は、細心の注意を払って行いましょう！**

地震による強い揺れにより、地盤が緩み、農地などに被害が発生している場合があります。

農地の点検を行う際は、細心の注意を払い作業を行ってください。

- (1) 用排水路や農業施設等の点検を行い、危険箇所の把握に努める。
- (2) 農作業事故を未然に防止するため、あらかじめほ場や作業道等の周りを点検し、農作業や農業機械の走行に支障がないかを確認する。

### 《農地点検のチェックポイント》

- パイプラインが破損していないか。
- ほ場にクラック（割れ目）が入っていないか。
- ほ場が隆起（波打っている）していないか。
- 畦が崩れていないか。
- 用排水路にズレがないか。
- 漏水していないか。
- 液状化で噴砂が発生していないか。



用水路のズレ

※ 欄に、チェック！

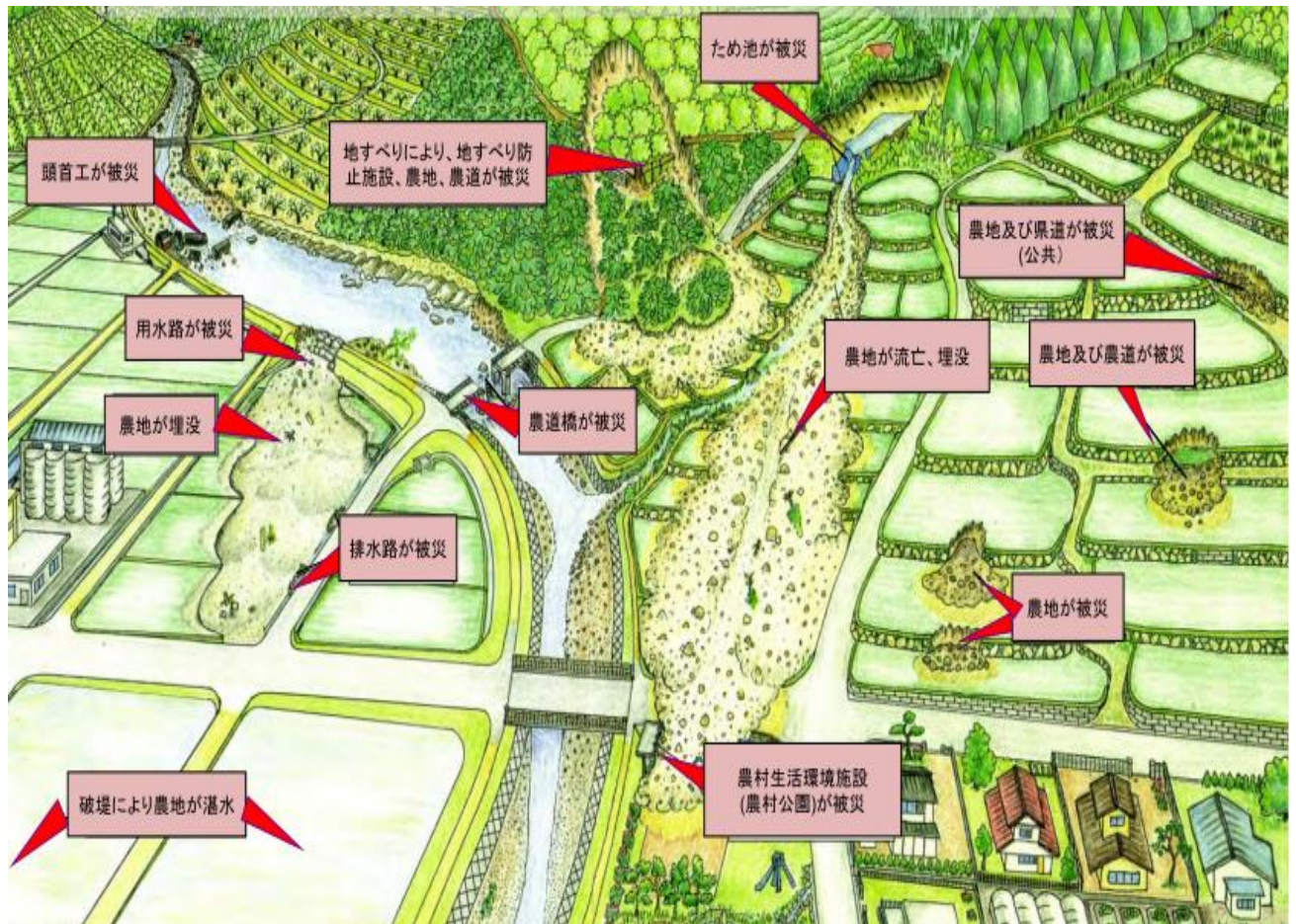
(次ページへ続く)



クラックの発生



液状化による噴砂



農地や施設の被害発生など、異常を確認した場合は、危険個所に近づかず、市役所・町役場や最寄りのJA、NOSA I への連絡をお願いします。

※ 市町やJA、NOSA I への連絡は、災害査定を受けるためにも大切です。



### 3 農作物等の技術対策

**【ポイント3】作業を行う際は、事前に農地を十分に点検し、  
細心の注意を払って行いましょう！**

#### (1) 共通事項

- ア くれぐれも安全対策をとった上で農地を巡回し、ほ場のクラック（割れ）により漏水が発生していないか、また、地表面から液状化現象により土砂や泥が噴出していないかなど、ほ場の点検を行うとともに、必要があれば細心の注意を払って手直しを行う。
- イ 水田でクラック（割れ）による漏水が発生した場合、畦や畦際は畦シートや波板等による漏水防止を行う。ほ場内で小規模発生している場合は、クラックを土で塞ぎ、水口を閉じて降雨を利用するなど湛水に努め様子を見る。  
ただし、傾斜地のほ場で深いクラックがある場合は、入水や湛水で崩落の恐れが高まるため、農林総合事務所やJAに相談してから対策を実施する。
- ウ 液状化現象により土砂や泥が噴出している場合は、噴出土壌のpHが酸性に傾いている可能性があり生育障害の原因となることが考えられることから、できるだけ取り除く。
- エ 農道等の路肩が軟弱になっている恐れがあるので、農業機械の走行に当たっては速度を落とし、路肩に寄りすぎないように注意する。  
また、ほ場の出入口が軟弱となっている場合には、補強して機械が安全に出入りできるようにする。
- オ 農業機械等が被害を受けた場合には、速やかに必要な点検及び整備を行い、農作業事故を未然に防止する。
- カ 農業施設への雨水の侵入を防ぎ、肥料・飼料等が濡れて変敗しないよう、安全な場所に移動する。

#### (2) 想定される作物被害と対応策

##### **ア 水 稲**

##### **○水田に入水したが水がたまらない**

###### 《対応策》

漏水が考えられますので、まずは、漏水の原因となっているクラックなどの状況を正確に把握し、市やJAに連絡して下さい。

応急措置として、畦や畦際に亀裂がある場合は、畦シートや波板等により漏水を防止します。ほ場内に亀裂がある場合は、幅が1cm程度であれば、クラック部分だけに赤土等を入れ込み、細い棒で突き固めて様子をみます。

##### **○田面から砂が噴出している**

###### 《対応策》

噴出した砂の位置を記録しておきます。堆積した砂はできるだけ取り除

き、稲刈り後は、次年度の作付けに向けて土づくり資材を施用します。

### ○暗渠が破損し田んぼが乾かない

《対応策》

コンバインによる稲刈りに支障がでないよう、溝を切るなどできる限り排水に努めます。

### ○ため池や水路が破損し用水不足が懸念される

《対応策》

水尻を閉じて湛水管理とし、節水に努めます。

## **イ 畑作物**

### ○液状化現象により土砂、泥が噴出した。

《対応策》

噴出の位置を記録し、噴出土はできるだけ取り除きます。噴出土壤はpHが酸性に傾いているため、作付け前であれば土壤pHを調べ、石灰などにより酸度矯正を行います。

### ○ほ場に凸凹が生じた

《対応策》

位置を記録し、市やJAに連絡します。地震により凸凹が生じたほ場では、暗渠にも支障が出る可能性があるため排水状況を確認します。排水機能が著しく劣っている場合は、溝を掘るなどできるだけ表面排水に努めます。

亀裂の大きいものや畦畔の高い水田で畦畔近くが亀裂している場合は、災害復旧工事が必要です。

### 《お問い合わせ先》

石川県中能登農林総合事務所

農業振興部 TEL 0767-52-5522

羽咋農林事務所 TEL 0767-22-0001

石川県奥能登農林総合事務所

農業振興部 TEL 0768-26-2323

珠洲農林事務所 TEL 0768-82-3111